



はぐくみ
医療法人育和会 育和会記念病院

育和会記念病院 〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目20番29号 TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 https://hospital.ikuwakai.or.jp/
育和会訪問看護ステーション 〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目19番8号 TEL 06-6758-2000 FAX 06-6758-2003
介護老人保健施設 ひまわり 〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目9番31号 TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

登録医のご紹介

当院では医療を必要とする患者さまに適切で一貫性のある医療を提供することを目的とし、開放型病院制度を運用しています。先生方のご協力で職員一同心より感謝しております。今回は下記のご登録いただいている医療機関様をご紹介します。

きさめき整形外科

整形外科、外科、リウマチ科、リハビリテーション科、内科、皮膚科
大阪府大阪市生野区中川4丁目2-21
TEL 06-6751-4322
http://kisanuki-seikei.com/

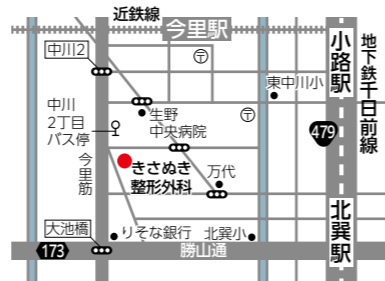


院長 木佐貫 修 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00-12:30	●	●	●	●	●	●
午後 17:00-19:30	●	●	●	-	●	-

休診日…木曜午後・土曜午後 日・祝日

当院では整形外科、外科、リウマチ科、リハビリテーション科、内科、皮膚科の外来診療を行っています。各種リハビリ機器も充実しており、リハビリテーション治療も積極的に行っています。診断や治療については、できる限りわかりやすい言葉で説明し、患者さんの声に耳をかたむけ、患者さんが安心して健やかな生活を送れるようお手伝いします。これまでと同様に今後も地域の皆様方に整形外科専門医としてお役に立てますよう、スタッフ一同努めて参ります。どうぞお気軽にご来院いただけますようお願い申し上げます。



医療法人サンスター みつぼし在宅クリニック

一般内科、緩和ケア内科、泌尿器科、精神科
東大阪市長田東2-2-14 NBHビル3F
TEL 06-6743-7384
https://mitsuboshi-zaitaku.com/



院長 木下 電弥 先生 片山 欽三 先生 種田 建史 先生

みつぼし在宅クリニックを開業して約4年が経ちました。当院が最も力を入れているのは地域の皆様との連携です。地域の皆様とのコンタクトを密に取れるよう院内・院外でカンファレンスを行い、在宅チームの一員として日々精進しております。在宅医療が患者様やご家族さんがより良い人生を過ごされる為の一助となれるよう努めてまいります。



医療法人サンスター みつぼしリンククリニック

一般内科、緩和ケア内科、精神科
大阪市平野区平野宮町1丁目7-1 大日ビル2F
TEL 06-6777-6286



院長 米田 傑 先生

令和4年8月に大阪市平野区で在宅療養支援診療所として開業いたしました。みつぼし在宅クリニックでの経験をいかし、平野周辺のエリアでも連携の取りやすいクリニックとして、地域の皆様と一緒に診療を行っていきたいと思います。



訪問診療	月	火	水	木	金	土	日
9:00-18:00	●	●	●	●	●	▲	-

※土曜日は9:00~12:00 祝日は関係なく対応しております
診療は訪問診療のみです。緊急時、24時間365日対応しております。

外科医が減っていることをご存じですか？

外科医が減っていることをご存じですか？「そんなことないでしょう!」とおっしゃる方がいるかもしれません。2020年の統計では我が国の医療施設従事医師数は323,700人ですが診療科別では内科が最も多く、小児科、整形外科、外科、精神科、皮膚科…となっています。これを見ると外科医は十分いると思われるかもしれませんが、しかし診療科別の医師数の経時変化を見ると下のグラフのようになっています。

医師の総数は増加していますし、多くの科の医師数が増加している一方で、外科と小児科、産婦人科、内科が減少していま

す。産婦人科、内科は少しずつ数を回復しつつありますが、とりわけ下落が著しいのは外科と小児科で、1994年から2020年においては小児科は1割台後半、外科は3割近くも減少しています。外科医の減少は著しい状態です。



育和会記念病院 副院長 西森武雄

外科医が減っているといっても、外科以外の医師の方はそのようなことは感じず診療ができていないのでしょうか？2020年の統計では診療科別の医師の平均年齢は、外科 67.2、脳神経外科 61.8、内科 61.7、臨床検査科 61.6、小児科 61.0、整形外科 60.9、産婦人科 60.3、耳鼻咽喉科 60.1、リハビリテーション科 59.9、眼科 58.3、精神科 58.1、麻酔科 57.8、放射線科 57.2、皮膚科 57.1、形成外科 53.0、救急科 44.9、美容外科 43.4、臨床研修医 33.2 歳と報告されており外科医は最も高齢です。高齢の外科医が今の外科を支えていると言っても過言ではなく、この努力が外科医の減少を感じさせていないのではないかと思います。

外科を希望する人が減少し現在の高齢の外科医が引退すると、一気に外科医が少なくなることが容易に想像されます。そうなると思うように手術が受けられないという事態が起こりかねません。たとえば今、入院してから2~3週間で手術が受けられるとして、それが数か月後になってしまう可能性があります。都会ではまだ医師数は確保できるかもしれませんが、地方に行くほど深刻な状態となることは目に見えています。通常、時間の経過とともに病気は進行しますので、適切なタイミングで手術を受けられないという状況はたいへんな問題となるでしょう。

2004年に新臨床研修制度が開始され、医学部を卒業し国家試験に合格した人は2年間の臨床研修を行うことが義務化されました。その2年間では将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻りに関わる疾病に適切に対応できるよう基本的な診療能力を身につけることが臨床研修の目的です。この臨床研修が終了してから各自が希望する専門診療科へ進むこととなります。以前から外科医は徐々に減少していましたが、新臨床研修制度が始まって外科医の減少は加速されたと言われていました。

当院は2004年に大阪市立大学(現・大阪公立大学)医学部附属病院の協力病院としての臨床研修病院となり、2007年からは独立した臨床研修病院となりました。診療研修医を指導す



表紙続き

るには臨床研修指導医講習会を受講した医師（臨床研修指導医）が必須ですが当院では現在23名の医師がその資格を有しており、これは常勤医の約半数です。

また臨床研修病院は外部の第三者から評価を受けることが推奨されていますが、2025年以降はそれが必須（義務）になります。そこで当院は2022年1月に卒後臨床研修評価機構の審査を受け、3月にはハード面・ソフト面で基準を満たす病院であることが認定されました。このように臨床研修病院を維持していくため病院全体で頑張っています。

さて、当院では今まで1年間に2～4名の臨床研修医を採用してきました。私は2004年度から臨床研修プログラム副責任者、その後責任者となり2022年度まで臨床研修にかかわってきましたので当院での臨床研修を希望する学生の面接を行ってきました。その中で将来外科医になりたいと発言した人は1人のみでした。その人も結果的には外科には進みませんでした。以上のように今の医学生には外科は人気のない科となっているように感じます。

新臨床研修制度が始まるまでは、医学部在籍中に何となく面白そうだと感じた診療科やクラブ活動の先輩とのつながりなどで決めた診療科へ進んでいたと思います。外科へ入局後こんなはずではなかったと覚えることがあっても、外科医になってしまったのだからそのまま外科を続けたという外科医もいるのではないかと思います（私見）。

しかし、新臨床研修制度の開始後は臨床研修中にいろいろな診療科を見て将来の自分の進む診療科を選択することとなりました。そうすると、外科は勤務時間が不規則で長時間勤務である、患者に感謝される反面、医療事故に巻き込まれる確率が高い、一人前になるための修業期間が長い、仕事に比べ低評価でコストパフォーマンスが悪い、などの負の面が研修医にも分かり、自分の時間や生活を重視する価値観の変化とのミスマッチが若い医師の外科の敬遠につながっているのではないかと考えます。また、女性医師の増加も外科医の減少に関与している可能性もあります。これ以上外科医が減少すれば少ない医師にさらに負担がかかり、立ち去りなどによる急速な崩壊が始まる可能性があります。

それではどうすれば外科医が増えるのでしょうか。第一に、外科医の待遇や労働条件の改善は必要でしょう。診療報酬改定で手術手技料の増額が認められてきていますが、その増額は病院に納入され外科医に還元されているとはいえない難しい面があります。第二は、医学生や若い医師に外科の魅力を伝える必要があるでしょう。現在各大学の医学部では様々な試みが行われているようです。また、日本外科学会をはじめとする外科系の学会は外科の魅力を伝える方策をいろいろ行っているようです。これらの効果はすぐに表れないでしょうが、今後医学部生や研修医が外科に興味を持ち、外科医を志す医師が増えることを私は外科医として願っています。

看護部長就任のごあいさつ



育和会記念病院
今福由昌 看護部長

当院に入職後20年目を迎えた本年4月より、看護部長の役割を担うことになりました。病院理念を念頭に、地域の皆様に必要とされる病院であり続けるよう努めてまいります。また、在宅や地域での「その人らしさ」を大切に、住み慣れた場所で安心して療養生活が継続できるために、地域と病院が顔の見える関係の中で協働して問題解決を図り、1つのチームになりたいと考えます。

社会に目を向けますと、働き方改革は2024年4月までに全ての医療機関で労務管理と労働時間を短縮し、特に医師は医師でなければ実施できない業務に専念するタスクシフト/シェアの実践が求められています。タスクシフト/シェアにより、多職種連携による各々の専門性を認識した役割分担を推進し、医療・看護の効率化と安全性の向上を図るなど、職員にとっても必要で魅力ある病院であり続けるよう努めてまいりますので、皆様からの御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

Instagramを開設しました

育和会記念病院 看護部に関する様々な情報をお届けしたいと思います。フォローや「いいね!」など、よろしくお願いします。

登録はこちらから



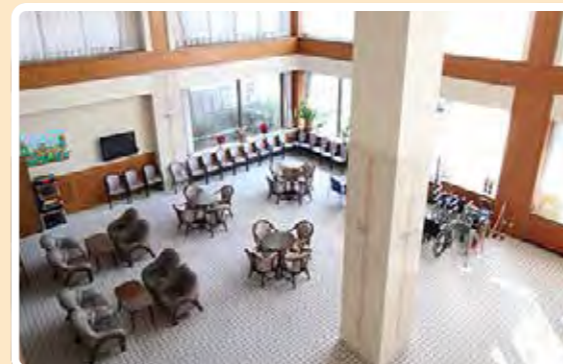
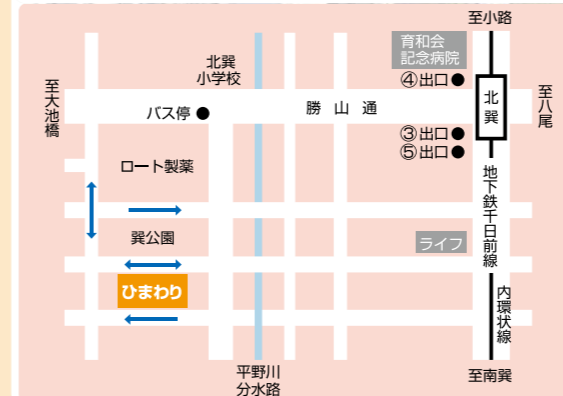
介護老人保健施設《ひまわり》です

<https://himawari.ikuwakai.or.jp/>



介護老人保健施設とは、介護保険の要介護認定を受け自宅での生活を維持継続することが困難な方にリハビリテーション・看護・介護サービスを行うことにより、自宅と家庭復帰を支援する事を目的とした施設です。

「一般入所」の他に1泊から1ヶ月以内までの「短期入所」や日帰り利用の「通所リハビリ」、理学療法士が自宅に訪問する「訪問リハビリ」などのサービスを提供しています。



施設の外門より色鮮やかな花々や緑豊かな植栽が広がる庭園を通り抜け、正面玄関よりお入り頂くと、広々としたエントランスホールは2階まで吹き抜けとなっており、天井が高く開放感があります。ホールの左手にあるのは、通所リハビリ利用者の生活空間です。カラオケや趣味の時間を過

ごしたり、管理栄養士が献立を立てた栄養バランスの取れた美味しい食事をお楽しみ頂いています。右側通路の奥にはゆったりとしたリハビリ室があり、いつも和やかな雰囲気です。1階にはその他に、居宅介護支援事業所・ボランティア室・調理室・事務室等があり相談室では施設サービス利用の受付を致しています。

3階・4階の療養フロアを紹介します。療養フロアは合計100名の方の利用が可能です。療養室は4人部屋・2人部屋・個室があり、家庭的な雰囲気の中で生活できるよう家具等にもこだわっています。



各階ホールは明るく開放的なスペースになっており、レクリエーションや食事などを楽しんで頂けます。施設北側の部屋から見る景色は格別で、特に春先は巽公園の美しい桜並木が一望でき、季節感あふれる日々をお送り頂けます。サービスステーションには、力強く優しく頼りになる介護士や経験豊富な看護師が数多く在籍し、ご利用者の一番身近なところで施設生活をサポートしています。

また、定期的に介護士が中心となり季節にちなんだ行事を開催しています。施設行事を通して四季を感じ楽しんで頂けたら幸いです。

少しでも《ひまわり》を知って頂けたら嬉しく思います。よろしければ一度施設へ足を運んでみて下さい。

支援相談員 浅田 裕行

新任医師紹介

新しく入職した先生方に、下記の質問に答えていただきました。

Q1 出身・卒業大学・前任地など Q2 専門分野・資格・実績 Q3 育和会記念病院での抱負・方針

脳外科
中澤 拓也
ナカザワ タクヤ



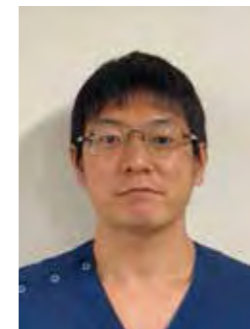
- Q1 和歌山県出身 滋賀医科大学卒業
滋賀医科大学、大津赤十字病院、
京都岡本記念病院
- Q2 日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医・指導医
日本脳血管内治療学会専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
- Q3 今まで学んできたことを地域の皆さんの医療にいかせるように努力いたします。

脳外科
三平 剛志
サンペイ タケシ



- Q1 大阪府出身
関西医科大学卒業
- Q2 脳神経外科専門医
脳卒中専門医・指導医
- Q3 患者さんに安心していただける脳外科診療を心がけてまいります。よろしくお願いたします。

呼吸器内科
川井 隆広
カワイ タカヒロ



- Q1 大阪市立大学卒
- Q2 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺癌、肺炎
- Q3 ひとりひとりの患者様に寄り添い、地域医療に貢献できるように尽力して参ります。

呼吸器内科
堀井 崇博
ホリエ タカヒロ



- Q1 大阪府出身
東京医科大学卒業
浅香山病院
- Q2 呼吸器内科
- Q3 まだまだ未熟ですが患者様に寄り添った医療が提供できるように、精一杯頑張ります。

脳外科
田中 康恵
タナカ ヤスエ



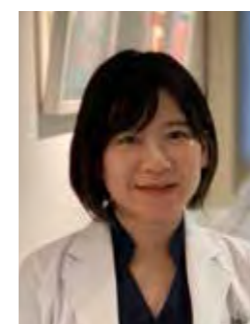
- Q1 山口県出身です。
山口大学を卒業しました。
- Q2 脳神経外科専門医
脳神経血管内治療専門医
脳卒中専門医
- Q3 患者さまに安心して脳神経外科を受診いただけるよう、迅速かつ丁寧な診療を心がけて参ります。

総合内科
大野 城太郎
オオノ ジョウタロウ



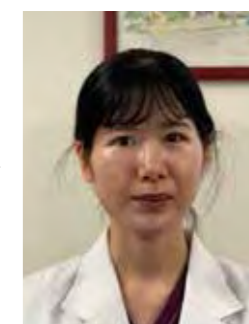
- Q1 奈良県立医科大学卒業
オーストラリア New Castle
大学臨床疫学大学院卒業
ロンドン大学熱帯病感染症
大学院卒業
- Q2 総合診療学、感染症学
- Q3 患者様の意向に添いつつ、ていねいな診療を心がけます。よろしくお願致します。

神経内科
山下 翔子
ヤマシタ ショウコ



- Q1 山口県出身・川崎医科大学卒業・近畿大学病院にて神経内科として研鑽を積んでまいりました。
- Q2 神経内科専門医・認定内科医
- Q3 微力ではありますが、地域医療に貢献できるよう全力をつくす所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

皮膚科
福村 恵理奈
フクムラ エリナ



- Q1 奈良県出身です。大阪市立大学を卒業しました。
- Q2 皮膚科
- Q3 患者様のお役に立てるよう丁寧な診察を心がけたいと思います。よろしくお願致します。

外科
永井 友英
ナガイ トモヒデ

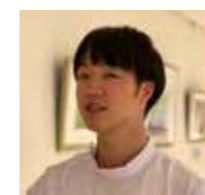


- Q1 大阪市出身。大阪市立大学を卒業しております。
- Q2 外科学会専門医
- Q3 地域の皆様のお役に立てるよう努めて参ります。

外科
今本 皓介
イマモト コウスケ



- Q1 大阪出身です。岐阜大学卒で石切生喜病院、大阪市立大学で研修しました。
- Q2 外科
- Q3 使える医師になれるよう日々精進します。



- 研修医 **岩本 亘平**
イワモト コウヘイ
- Q1 大阪市出身です。神戸大学を卒業しました。
 - Q2 -
 - Q3 精一杯頑張ります。よろしくお願致します。



- 研修医 **木村 匠吾**
キムラ ショウゴ
- Q1 広島県出身です。大阪公立大学を卒業しました。
 - Q2 -
 - Q3 いち早く一人前の医師になれるよう頑張ります。



- 研修医 **高島 智貴**
タカシマ トモキ
- Q1 兵庫県出身です。神戸大学を卒業しました。
 - Q2 -
 - Q3 医師として知識をつけ、患者様に寄りそう医療を行えるようがんばりたいと思います。よろしくお願致します。



- 研修医 **八田 宗之**
ハッタ ムネユキ
- Q1 東京都出身です。北里大学を卒業しました。
 - Q2 -
 - Q3 患者様に、より良い医療を提供できるよう日々学習していきます。よろしくお願致します。